平成27年度決算

亀山市

# 平成27年度つうしんぼ

## わかりやすい決算書

亀山森林公園「やまびこ」

# 平成27年度

# 決算

平成27年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算が市議会で認定されました。

平成27年度は、厳しく先行き不透明な財政状況の中、第1次総合計画後期基本計画の４つの戦略プロジェクト（まち守り・まち磨き・みんな健康・子ども輝き）を中心に、さまざまな施策に力を注ぎました。

「平成27年度つうしんぼ」では、皆さんに納めていただいた税金や、国・県から市に入ったお金がいくらで、どのように使われたか、また、市の財政状況はどうなっているのか、詳しくお伝えします。

## 一般会計

一般会計の歳入は 212 億 6,665 万円、歳出は 202 億3,714万円。歳入歳出差引額は10億2,951万円で、翌年度に繰り越す財源を控除した実質収支額は 9 億 6,836 万円の黒字となりました。

### 歳入 212億6,665万円

歳入は前年度より約１億８千万円増加した決算となりました。この内訳として、地方財政の自主性を確保する自主財源は、市税収入が減少したことなどにより前年度に比べ約２億円減少し、構成比が歳入全体の62.0％となりました。依存財源は、地方交付税や地方消費税交付金が増となったことなどにより、約３億８千万円増加し、構成比は38.0％となりました。

**●市税の内訳**　（かっこ内は前年度増減比率）

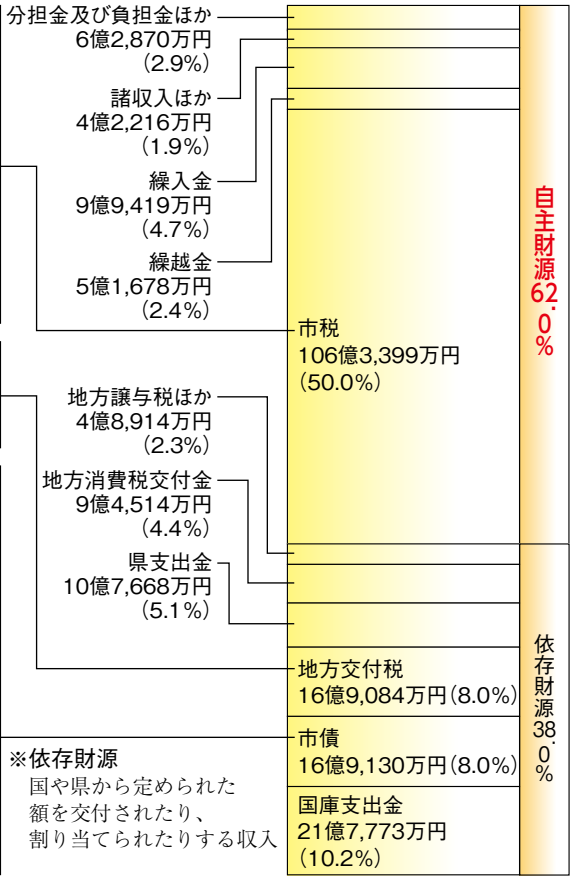
| | |
|---|---|
| 市民税 | 34億8,321万円（2.0％） |
| うち個人市民税 | 25億5,371万円（1.5％） |
| うち法人市民税 | 9億2,950万円（3.3％） |
| 固定資産税 | 59億1,450万円（△5.5％） |
| 軽自動車税 | 1億1,679万円（3.6％） |
| 市たばこ税 | 3億6,766万円（△2.1％） |
| 特別土地保有税 | 30万円（0％） |
| 入湯税 | 265万円（1.2％） |
| 都市計画税 | 7億4,888万円（△2.4％） |

**●地方交付税の内訳**　（かっこ内は前年度増減比率）

| | |
|---|---|
| 普通交付税 | 12億4,829万円（15.2％） |
| 特別交付税 | 4億4,255万円（0.3％） |

**●市債の内訳**

| | |
|---|---|
| 臨時財政対策債 | 8億1,480万円 |
| 一般廃棄物処理施設整備事業債 | 1億3,870万円 |
| し尿処理施設長寿命化事業債（合併特例債） | 1億680万円 |
| 和賀白川線整備事業債（合併特例債） | 150万円 |
| 野村布気線整備事業債（合併特例債） | 3億9,700万円 |
| 緊急防災事業債 | 5,740万円 |
| 学校教育施設整備事業債 | 1億5,820万円 |
| 現年発生補助災害復旧事業債（農林） | 20万円 |
| 防災対策事業債（繰越明許費） | 340万円 |
| 現年発生補助災害復旧事業債（農林・繰越明許費） | 140万円 |
| 現年発生補助災害復旧事業債（土木・繰越明許費） | 660万円 |
| 現年発生単独災害復旧事業債（土木・繰越明許費） | 530万円 |




※依存財源
国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入

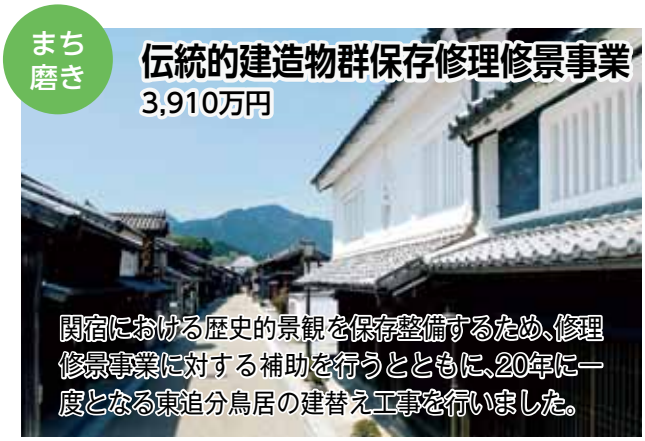
まち守り

## 舗装老朽化対策事業
9,516万円

安全・安心な道路交通を図るため、損傷の激しい市道川崎白木線（フラワーロード）の一部区間の舗装整備を実施しました。

まち磨き

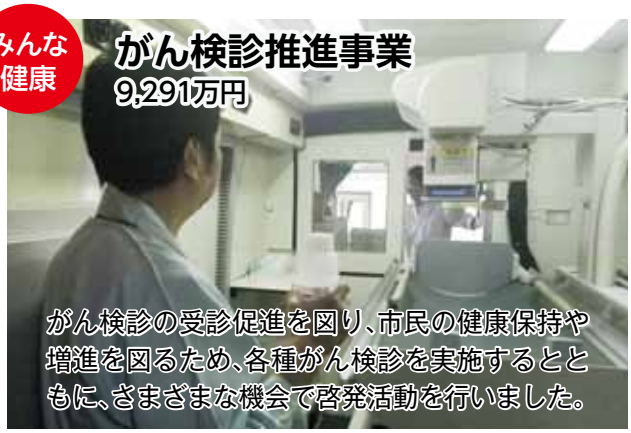
## 伝統的建造物群保存修理修景事業
3,910万円



関宿における歴史的景観を保存整備するため、修理修景事業に対する補助を行うとともに、20年に一度となる東追分鳥居の建替え工事を行いました。

みんな健康

## がん検診推進事業
9,291万円



がん検診の受診促進を図り、市民の健康保持や増進を図るため、各種がん検診を実施するとともに、さまざまな機会で啓発活動を行いました。

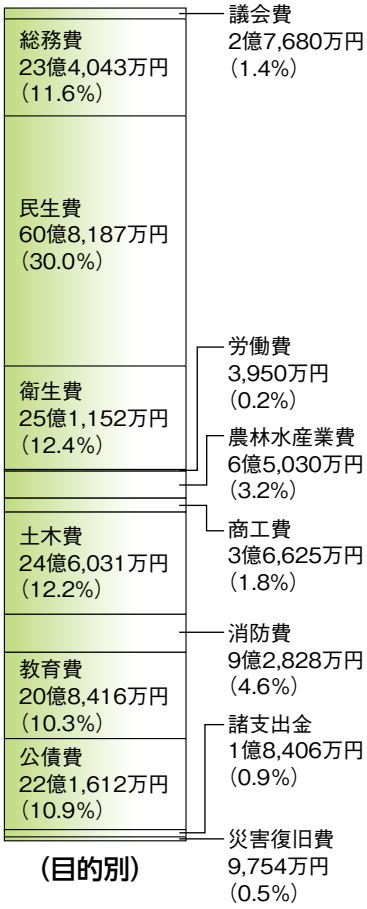
子ども輝き

## 川崎小学校改築事業
7,882万円

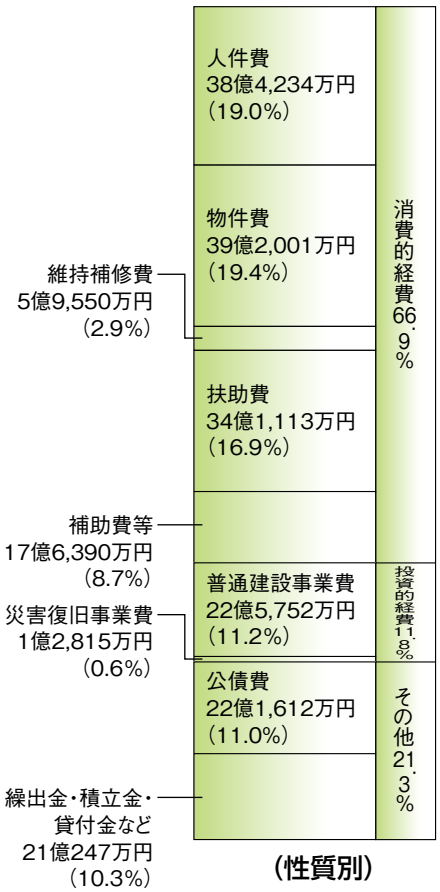
川崎小学校校舎の改築に向け、実施設計を行うとともに、新規学校用地の造成工事を行いました。

# 歳出 202億3,714万円

歳出は前年度より約４千万円増加した決算となりました。性質別でみると、消費的経費は、扶助費、補助費等の増により、前年度と比べて約６億４千万円増加しています。その他の経費では、公債費などの減により、前年度と比べて約２億４千万円減少し、また、投資的経費は、前年度に比べて約３億６千万円減少しました。北東分署建設事業、溶融処理施設長寿命化事業、白川小学校耐震化事業などが完了したことが要因となっています。




（目的別）

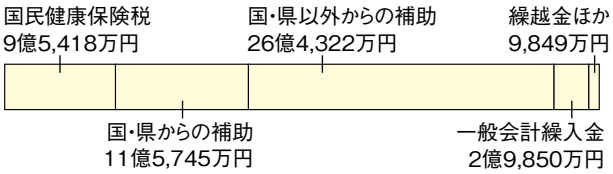



（性質別）

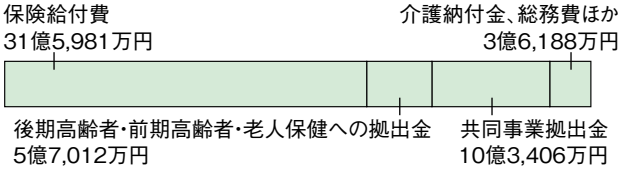
## 国民健康保険事業

平成27年度末の加入世帯数は6,291世帯、被保険者数は10,348人。医療費（自己負担分を除く）を保険給付費として国民健康保険会計から支払っています。

**歳入** 51億5,184万円



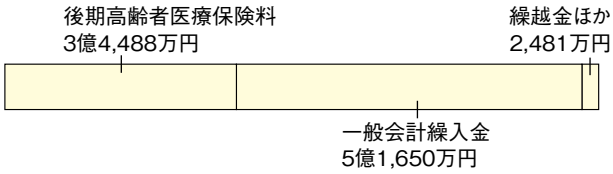

**歳出** 51億2,587万円



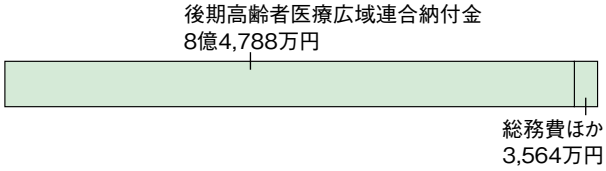

## 後期高齢者医療事業

75歳以上（一定の障がいがある場合は65歳以上）の高齢者を対象とした医療制度で、平成27年度末の被保険者数は6,174人です。

**歳入** 8億8,619万円




**歳出** 8億8,352万円




# 特別会計

**特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する必要があり、一般会計とは別に特別会計を設けています。**

**亀山市では現在、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、農業集落排水事業の３つの特別会計があり、特別会計全体の決算額は、歳入が65億2,026万円、歳出は64億6,919万円、歳入から歳出を差し引いた額は、5,107万円となりました。**

## 一般会計からの繰入金

下記の特別会計や企業会計では、事業の運営を維持していくため、一般会計からの繰り入れを行っています。一般会計側から見ると「一般会計繰出金」となります。

特別会計

| 会計名 | 繰入金額 |
|---|---|
| 国民健康保険事業 | ２億９,８５０万円 |
| 後期高齢者医療事業 | ５億１,６５０万円 |
| 農業集落排水事業 | ２億９,４２９万円 |

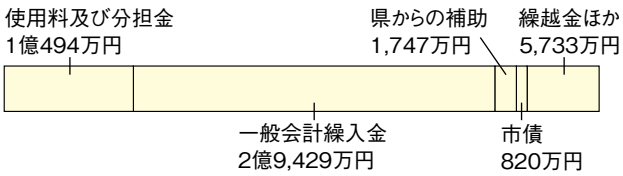
企業会計

| 会計名 | 繰入金額 |
|---|---|
| 公共下水道事業 | ７億４,７８０万円 |
| 病院事業 | ３億７７２万円 |

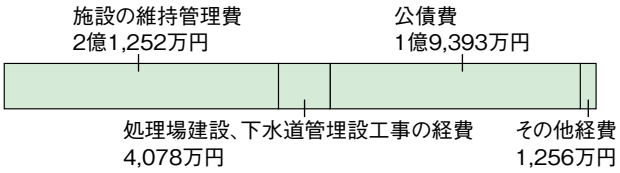
## 農業集落排水事業

公共用水域の水質保全や農村生活環境の改善を図るため、農業振興地域内において、全14地区が供用しており、2,796戸が加入しています。

**歳入** 4億8,223万円




**歳出** 4億5,979万円



## 水道事業

水道施設の耐震化を踏まえ、施設の更新を行い、給水については人口49,524人に1日平均17,841m³を給水しました。

| 収益的収支（水道料金などでの収支） | |
|---|---|
| 水道事業収益 | 13億3,027万円 |
| 水道事業費用 | 12億514万円 |
| 差引額 | 1億2,513万円 |
| 資本的収支（施設建設などでの収支） | |
| 資本的収入 | 4,947万円 |
| 資本的支出 | 4億6,594万円 |
| 差引額 | △4億1,647万円 |

## 工業用水道事業

工業用水として、供給先2件に対し1日平均2,126m³を供給しました。

| 収益的収支（工業用水道料金などでの収支） | |
|---|---|
| 工業用水道事業収益 | 8,071万円 |
| 工業用水道事業費用 | 6,070万円 |
| 差引額 | 2,001万円 |
| 資本的収支（施設建設などでの収支） | |
| 資本的収入 | 0 |
| 資本的支出 | 2,391万円 |
| 差引額 | △2,391万円 |

# 企業会計

**地方公営企業法の適用を受けて設置する自治体でも収益が認められている特別な会計であり、原則として独立採算制による業務運営が求められています。**

**平成27年度決算では、公共下水道事業の企業会計化により、水道事業、工業用水道事業、病院事業との4つの企業会計となっています。**

## 公共下水道事業

三重県の流域下水道事業の関連事業として下水管渠の整備を進めており、平成27年度末には供用面積782.3ha、処理区域内戸数8,608戸、普及率49.4%になりました。

| 収益的収支（施設維持管理などでの収支） | |
|---|---|
| 公共下水道事業収益 | 9億6,876万円 |
| 公共下水道事業費用 | 9億2,066万円 |
| 差引額 | 4,810万円 |
| 資本的収支（施設建設などでの収支） | |
| 資本的収入 | 13億1,692万円 |
| 資本的支出 | 13億787万円 |
| 差引額 | 905万円 |

## 病院事業

病床数は100床で、入院は年間延べ20,440人、外来は年間延べ38,334人が受診しました。

| 収益的収支（経常収支） | |
|---|---|
| 病院事業収益 | 15億5,610万円 |
| 病院事業費用 | 18億57万円 |
| 差引額 | △2億4,447万円 |
| 資本的収支（施設建設などでの収支） | |
| 資本的収入 | 4,088万円 |
| 資本的支出 | 1億4,105万円 |
| 差引額 | △1億17万円 |

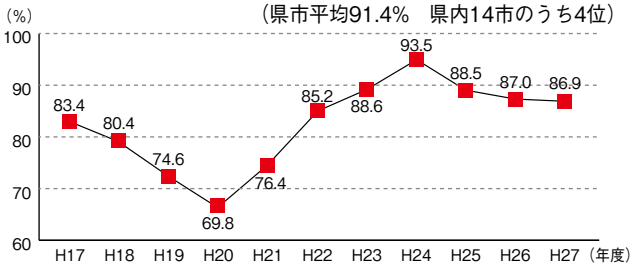
# 財政指標

自治体の財政状況を分析するための、さまざまな指数を総称して「財政指標」と呼んでいます。財政指標を見ると、亀山市が財政的に健全なのか、そうでないのか分かります。指標に加えて、市債や基金の残高をグラフで表し分析しました。

## 経常収支比率 86.9%

「経常的に収入された一般財源」が「経常的経費」にどのくらい充当されているか、その割合を示したもので、財政構造の弾力性を示す指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示しています。一般的には75%程度が妥当と考えられ、80%を超えると弾力性を失いつつあると言われています。

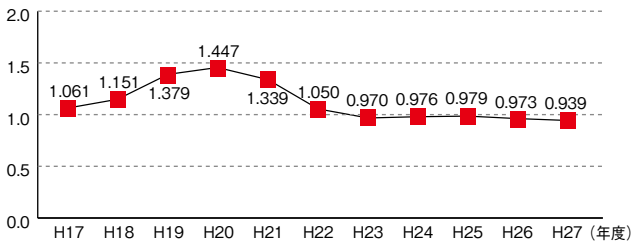
（県市平均91.4%　県内14市のうち4位）



## 財政力指数 0.939

地方公共団体の財政力を示すもので、一般財源の必要額に対し、市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを表しています。指数が「１」に近い団体ほど財源に余裕があり、「１」を超えると普通交付税の不交付団体となり、標準的な水準以上の行政を行うことができます。

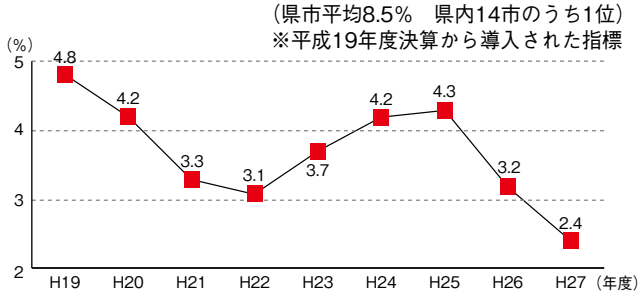
（県市平均0.671　県内14市のうち２位）
※単年度の数値です




## 実質公債費比率 2.4%

地方公共団体の借入金（地方債）返済額の大きさをその地方団体の財政規模に対する割合として表したもので、公債費による財政負担の度合いを判断する指標です。

（県市平均8.5%　県内14市のうち1位）
※平成19年度決算から導入された指標

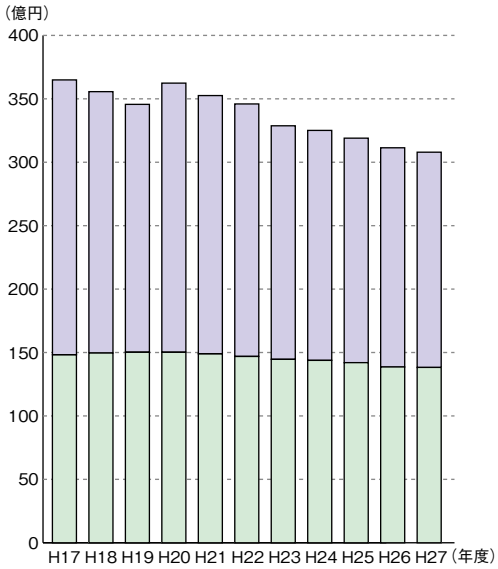


## 地方債残高 約308億円

市債は公共施設の建設など、一時的にたくさんのお金が必要な場合の借金で、将来、返済しなければなりません。

これまでに借り入れた市債の残高は約308億円となりました。平成27年度には、新たに約22億円を借り入れていますが、将来の財政負担を考慮し、市債は交付税算入のある有利なメニューを活用した結果、市債残高は７年連続で減少しています。

| | |
|---|---|
| 一般会計 | 170億1,528万円 |
| 特別会計等 | 138億1,204万円 |
| 農業集落排水事業 | 31億9,050万円 |
| 水道事業 | 19億4,944万円 |
| 工業用水道事業 | 2億7,601万円 |
| 公共下水道事業 | 81億2,774万円 |
| 病院事業 | 2億6,835万円 |
| 合計 | 308億2,732万円 |




### 地域生活交通再編事業
## 1億1,304万円

既存バス路線の運行事業を継続し、移動困難者の移動手段の確保に努め、亀山市地域公共交通計画に基づき東部ルートエリアの再編を行いました。

### 中部中学校クラブハウス建設事業
## 1億3,408万円

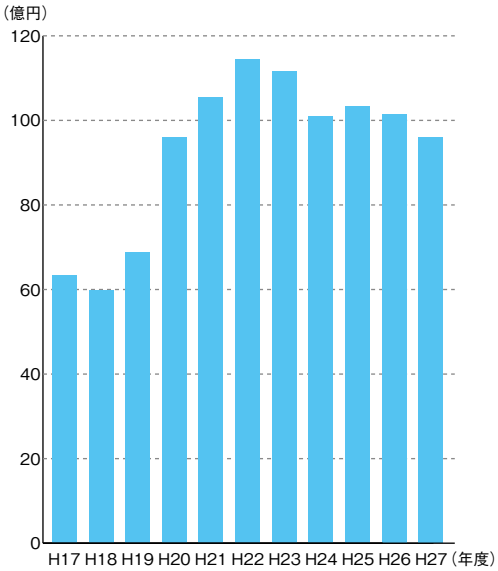
生徒の学校における生活環境の向上を図るため、ミーティングルームなどの諸室を備えたクラブハウスを建設しました。

## 基金残高 約96億円

法律や条令に基づいて設置される基金は、特定の目的のために活用することができます。

亀山市には平成27年度末で16の基金があり、残高は約96億円となりました。年度間の財源の不均衡を調整するための基金である財政調整基金については、市税の減収などにより繰り入れを行ったため、平成27年度で2億円減少しました。

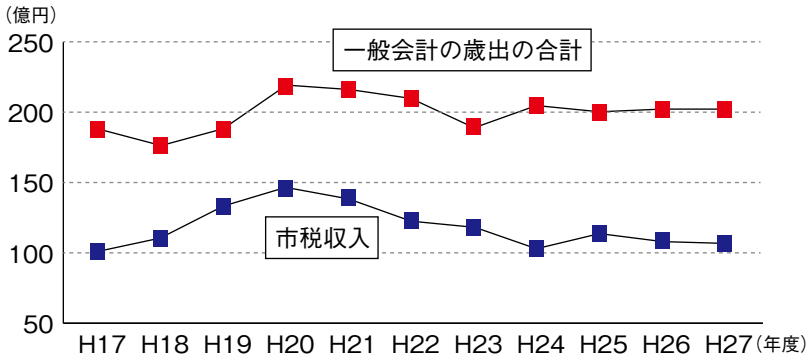
| | |
|---|---|
| 財政調整基金 | 42億6,861万円 |
| 減債基金 | 3億8,189万円 |
| 国民健康保険給付費等支払準備基金 | 65万円 |
| リニア中央新幹線亀山駅整備基金 | 15億5,090万円 |
| 下水道事業基金 | 0円 |
| 農業集落排水事業債償還基金 | 1億5,575万円 |
| 地域福祉基金 | 2,871万円 |
| 公共施設等基金 | 3,790万円 |
| ふるさと・水と土保全基金 | 1,768万円 |
| ボランティア基金 | 891万円 |
| 伝統的建造物群保存基金 | 468万円 |
| 庁舎建設基金 | 10億円 |
| 市民まちづくり基金 | 9億8,708万円 |
| 関宿にぎわいづくり基金 | 3億6,797万円 |
| 土地開発基金 | 8億1,438万円 |
| みえ森と緑の県民税市町交付金基金 | 240万円 |
| 計 | 96億2,751万円 |



# 決算経過

**亀山市は、今後の市税の減収や普通交付税の段階的な減額が見込まれる中で、創意工夫の行政運営が求められています。**

一般会計の歳出の合計と市税収入の推移



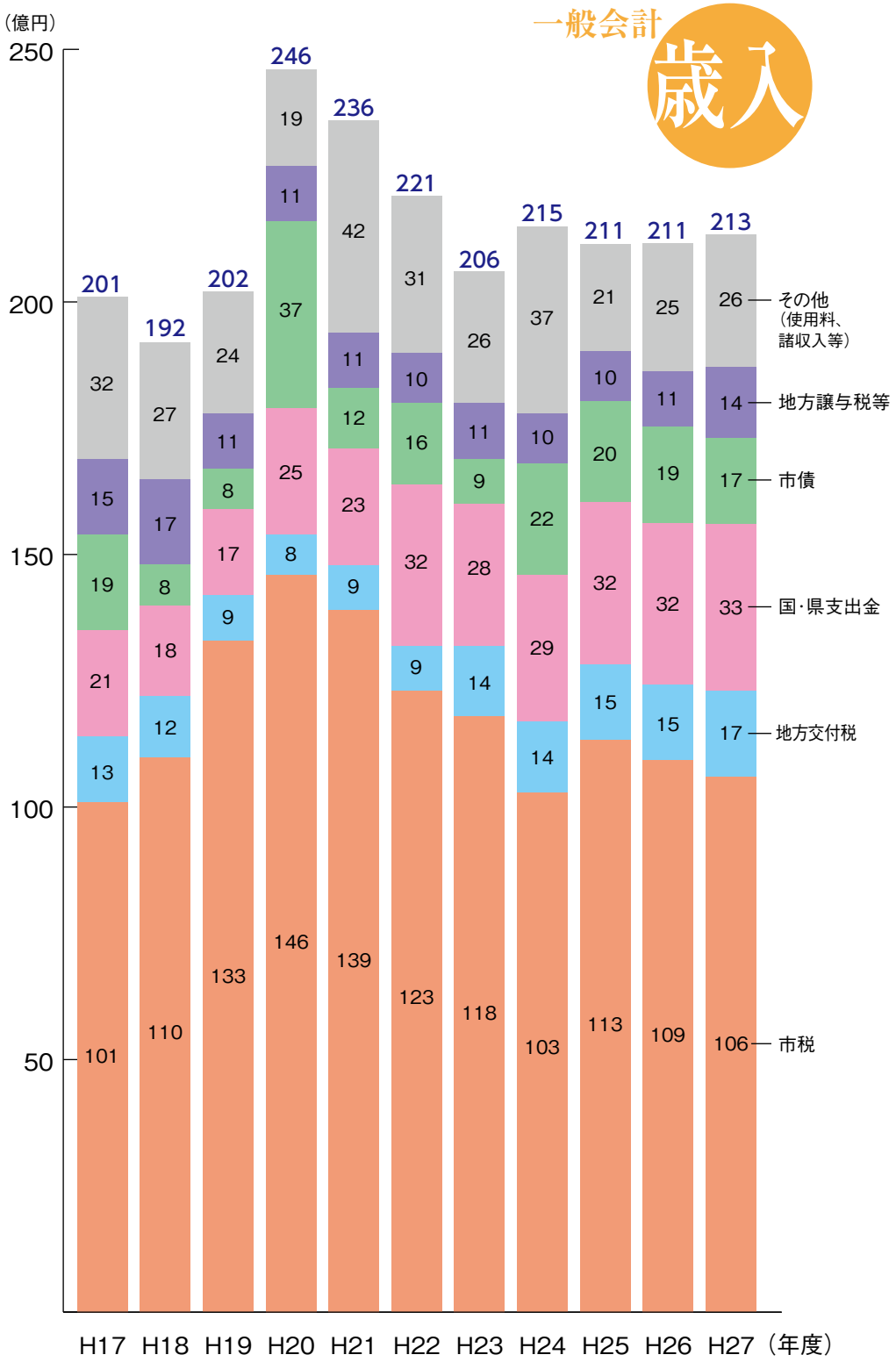

## 歳入の経過

人口はほぼ５万人で推移していますが、市税収入は平成20年度の146億円をピークに平成24年度まで減り続け、平成25年度決算では113億円と一時増収となった以降は減少し、平成27年度決算では106億円と前年度より約３億円の減収となりました。今後も引き続き厳しい状況が続くことが予想されます。

また、国･県支出金は33億円、地方交付税は17億円、地方譲与税等は14億円となり、前年度と比較して６億円増となりました。

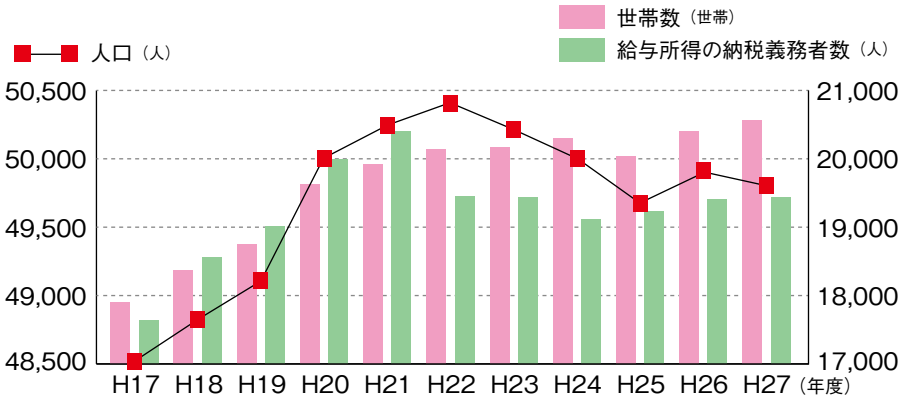
市債(借金)は、野村布気線整備事業、し尿処理施設長寿命化事業などの財源を借り入れましたが、前年度より２億６千万円減の16億９千万円となりました。

その他の収入は、使用料や諸収入など26億円で、前年度より１億円の増となりましたが、公共下水道事業の企業会計化に伴う繰出し財源として繰入金を増としたことが主な要因となっています。



## 人口・世帯数・納税義務者数の推移

※人口と世帯数は4月1日現在
※給与所得の納税義務者数は7月1日現在




## 歳出の経過

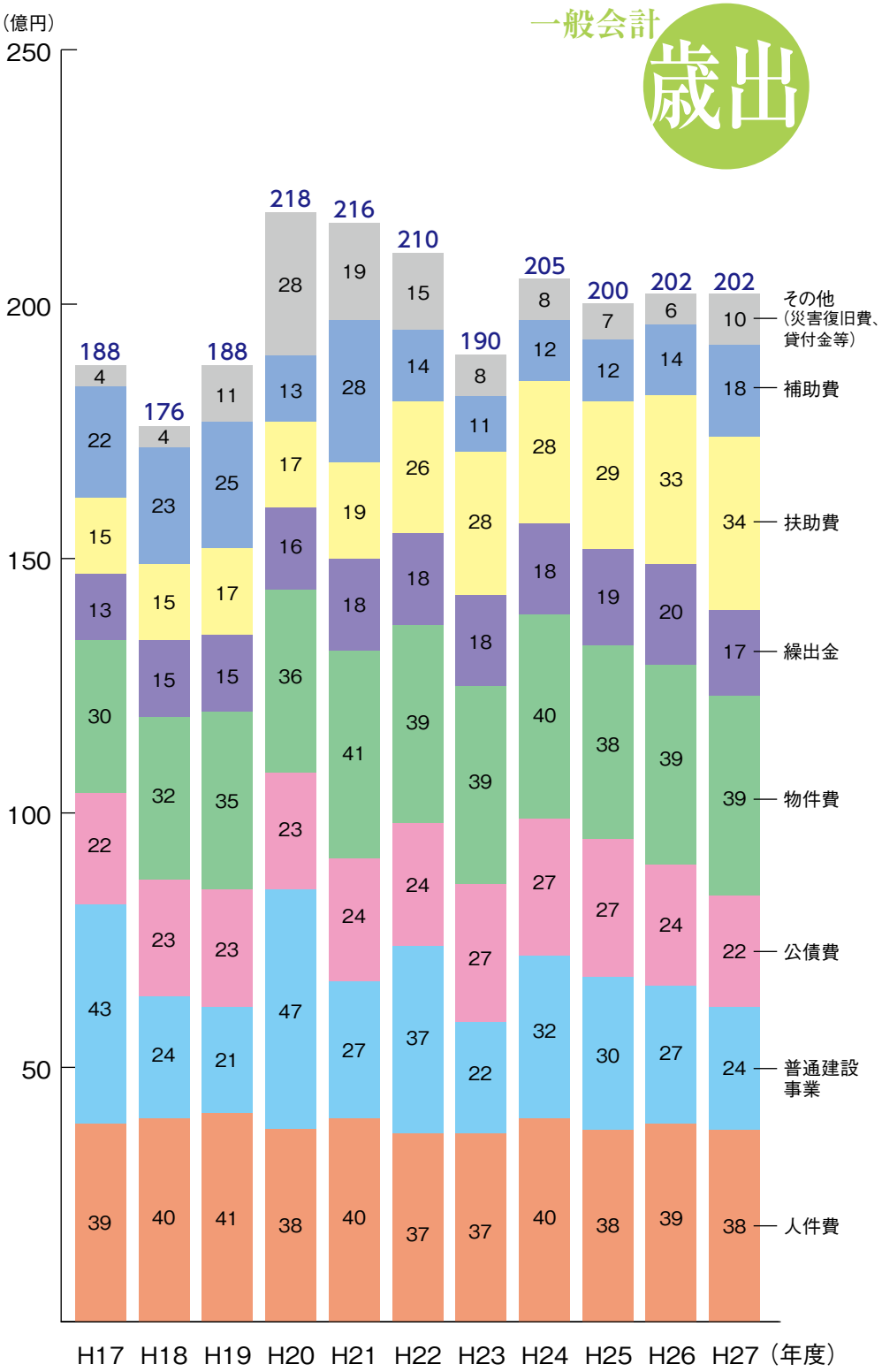
人件費については、前年度より１億円減の38億円となりましたが、扶助費については、前年度より１億円増の34億円となりました。

補助費においては、社会福祉・児童福祉事業費の増加により、年々増加傾向にあり、前年度より４億円増の18億円となりましたが、繰出金において前年度より３億円減の17億円となっており、繰出金・補助費等の増減については、公共下水道事業の企業会計化によるものが大きな要因となっています。

普通建設事業については、前年度より３億円減の24億円となり、主な事業として、野村布気線整備事業、し尿処理施設の長寿命化事業に取り組んだほか、中部中学校クラブハウス建設事業などの教育施設整備事業の執行によるものです。

また、公債費（借金の返済）は、前年度より２億円減の22億円となっています。

物件費については、前年度並みの39億円となりましたが、歳出全体の約２割を占めていることから、引き続き、ごみ溶融処理施設や教育施設など各種施設の運営に係る経費削減を図る必要があります。



5万人の台所事情

年収420万円の
家計に例えると
（市決算の約1/5000）

# 亀山家（市）

平成27年度の一般会計決算を約5,000分の１にして、家計簿に例えてみ
市の予算はさまざまな種類の歳入と支出があり、一般の家庭とは少し

給料（基本給）が減ったから、仕送りはとても感謝しています。

**市税**
皆さんから納めていただいた税金。市民税、固定資産税、たばこ税など

**地方交付税**
国税のうち市の取り分として交付されたお金

**譲与税・交付金**
国税・県税のうち市の取り分として譲与・交付されたお金

**諸収入**
延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入など

**使用料・手数料**
市営施設の使用料や住民票の写しの交付手数料など

**国庫支出金**
国と市が共同で行う事業のために国が市に支出したお金

**県支出**
県が市に対して支出したお金

**市債**
市が国や銀行から借りたお金

**繰入金**
市の基金から引き出したお金

**繰越金**
前年度に残ったお金

## 収　入

| | | 26年度からの増減 |
|---|---|---|
| 現金収入合計 | 357万円 | （+3万円） |
| ① 給　料（基本給） | 217万円 | （−8万円） |
| ② 給　料（諸手当） | 62万円 | （+10万円） |
| ③ パート収入 | 14万円 | （0万円） |
| ④ 祖父母からの仕送り | 64万円 | （+1万円） |
| ⑤ ローン（借入金） | 33万円 | （−6万円） |
| ⑥ 貯金取り崩し | 20万円 | （+5万円） |
| ⑦ 繰越金 | 10万円 | （−3万円） |
| 収入合計 | 420万円 | （0万円） |
| 貯金残高 | 171万円 | （+9万円） |

給料は、諸手当が毎年変わるから安定しないのね

## 平成27年度の家計は

平成27年度の家計は、生活費の節約に努めましたが、給料や祖崩して家計をやりくりすることとなりました。

しかし、家計に占める割合が大きい医療費や子どもへの仕送り築や改修に伴う支出が今後も増える見込みです。また、ローンのています。

諸手当の増加については、基本給との調整によるものや臨時的水に努めるのはもちろん、その他の出費についても無駄がないかしを最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力

# の家計簿

ました。
違った内容となっていますが、亀山家の年間の家計簿をつくってみると･･･

## 支　出

| | 26年度からの増減 | |
|---|---|---|
| 生活費合計 | 275万円 (+12万円) | |
| 食　費 | 65万円 (−2万円) | ① |
| 医療費 | 67万円 (+2万円) | ② |
| 光熱水費など雑費 | 91万円 (+8万円) | ③ |
| 車などの修理代 | 11万円 (+2万円) | ④ |
| 教育費 | 41万円 (+2万円) | |
| 子どもへの仕送り | 33万円 (−6万円) | ⑤ |
| ローン返済 | 44万円 (−4万円) | ⑥ |
| 家や庭の建築・改修 | 39万円 (−10万円) | ⑦ |
| 貸付など | 8万円 (+5万円) | ⑧ |
| 貯金など | 1万円 (0万円) | ⑨ |
| 支出合計 | 400万円 (−2万円) | |
| 余り | 20万円 (+2万円) | |
| ローン残高 | 336万円 (−10万円) | |

**人件費**
市職員の給料や議員報酬など

**扶助費**
生活保護、障がい者支援、医療費助成など福祉に使ったお金

**物件費**
光熱水費、消耗品費、業務委託料など

**補助費等**
報償費、負担金、補助金など

**維持補修費**
道路、公共施設を維持するために必要なお金

教育費には人件費や物件費、普通建設事業費などが含まれています。

**繰出金**
下水道事業や介護保険などの他の会計への繰越金

**公債費**
市債の元金・利子や一時入金の利子

**普通建設事業費**
道路・学校・庁舎など、公共・公用施設の新築・改修に使ったお金

**災害復旧事業費**
大雨、暴風などの災害により被災した設備を復旧するためのお金

**貸付金**
福祉増進や地域振興のための貸したお金

**積立金**
将来の財源変動に備えて積み立てたお金

ローンの返済もあって、子どもの仕送りも必要だから大変なんだ。

医療費だけでなく光熱水費や車などの修理代も増えたから、お金の使い道を慎重に考えないとだめだね。

父母からの仕送りが思ったよりも増えなかったため、貯金を取り

などは依然として高額であり、家や庭についても老朽化のため改
残高は少しずつ減少させているものの、返済は出費の重荷になっ

なものであることから、今後も厳しい状況が続くなか、節電や節
徹底的に見直して節約に努め、ローンの借り入れや貯金の取り崩
が必要です。

豊かな自然・悠久の歴史
光ときめく亀山

平成27年度決算　亀山市

わかりやすい決算書

# 平成27年度
# つうしんぼ

編集・発行　亀山市企画総務部広報秘書室
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地
TEL 0595-82-1111(代)　FAX 0595-82-9955

広報かめやまは、古紙パルプ配合率80%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。